

第43回 SATOU フォーラム

第32回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)

記

日時: 2024年10月16日(水) 16:00~19:00 (受付開始は15:50より)

会場: イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomB

中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)



- >15:50~16:00 受付
- >16:00~16:15 会員情報発信
- >16:15~18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「株ファンドクリエーションの現況と今後の展望! 名前のおりファンドを介して投資家に不動産に限らずさまざまな投資対象を提供しているユニークな企業である。太陽光が再エネ政策に取り入れられたときは、小生の知る限り、業界でいち早く商品化する機敏性には舌を巻いた。

多種多様なアセットの中から投資家ニーズに合った投資商品に組み立てる機敏な企画力は、業界随一。証券業界出身の創業者田島社長だからこそ可能なのか。さしつかえない範囲でユニークな発想の本をご教示願いたい。」

—最近のファンドに車両(運送トラック)ファンドが加わった。当面100億円の規模拡大をめざしている。減価償却費狙いの投資家に大好評のようだ。—

講師: 田島克洋先生 (株)ファンドクリエーショングループ代表者)

- >18:00~19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第44回 2024年11月12日(火) 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分

(東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)

八重洲地下街24番出口出て

すぐ右側のビル4階です

田島 克洋（たじま かつひろ）先生 プロフィール

慶応大学卒業後、大手証券会社に入社。

支店営業を経てジョージタウン大学法律大学院に企業派遣、ニューヨーク州弁護士資格を取得。

帰国後は経営企画部門勤務を経て、ニューヨークでヘッジファンドの開発・運用を統括。その後、不動産デベロッパー企業にて、アセットマネジメント会社の社長に就任。

2002年12月、株式会社ファンドクリエーションを設立。

2006年上場。

同社では、毎月分配型不動産ファンド、太陽光発電ファンド、民泊事業ファンド、車両ファンドなど、時代に先駆けた金融商品を次々と開発。

以上

◆豊かさを実感できない貧血日本

日本政府は、外貨準備として米国の国債を1兆ドルも買って保有している。すなわち、日本国民の税金を1兆ドルも米国に貸している世界有数の債権国なのだ。「円が1ドル160円になった円安騒ぎの時、売っていたら何十兆円のボーナスを国民に配ることができたのに！」というホラ話をしようとしているのではない。

だいたい前になるが、当時の橋本首相が米国滞在中「米国債を時々売りたいくなる衝動に駆られることがある」と軽口をたたいて、**ドルの急落を招き、批判にさらされたことがある。**

かつて植民地時代のインドは、英国との貿易で常に黒字だった。インドは香辛料などを輸出し、宗主国の英国から大幅な黒字を稼いだが、支払いは、英国ポンドでそのままロンドンの銀行に預けられた。インドの貿易黒字は、帳簿のうえだけで、その黒字は実質、英国企業に融資され、宗主国の投資や消費を活発にさせただけだ。英国人は、インドの産物と資金で一段と豊かな暮らしの繁栄の時代を実現した。

これらのことを格付けで著名な三国陽夫先生は、そのご著書「**黒字亡国論**」で。いまの日米関係は、植民地時代のインドと英国の関係に酷似していると喝破し、「対米黒字が、日本で活用されていないことが日本のデフレの一因」と指摘した。

民間取引で生じた黒字だけでなく、外貨準備でも1兆ドルという大枚が国策として支出され、日本の消費・投資に活用できない。米国の**“実直な貢ぎ君”**は、日鉄のUSスティールの買収の件でもバイデンやトランプから殴られ放しだ。そもそも豊かさを実感できないのは、経済の血液が異次元緩和によっても、国内に行き届かず、米国へ流出する構造のため、貧血症になっているからか？

以上

(文責：佐藤)

第 43 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費:6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加 交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、10月11日(金)頃までにご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局：今井 090-1701-7108
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644
E-mail:info@pulatinum-pub.co.jp

振込先：三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義：佐藤 一雄